

祇園祭デジタル・ミュージアム2020 の公開と研究利用の可能性



文学部 地域研究学域 特任助教
佐藤弘隆

祇園祭－都市の災害と祭り－

- 平安京の都市としての発展と共に、衛生面での問題が生ずる。
- とりわけ、梅雨の時期の水害とそれに伴う疫病の蔓延は、人々を苦しめた。
- これを怨霊の祟りや疫神の仕業と考える。

⇒臨時的な御霊会(出雲路・船岡・紫野・衣笠・東寺・西寺・祇園)

- 869年、矛66本を立て、祇園社から神泉苑へ神輿を送る。

⇒祇園御霊会の発祥(貞観11年説)

- その後、幾度もの疫病流行や戦乱などを乗り越えながら、京都の街の発展と共に歩み続けている。
- 風流行事として発達した山鉾行事は、国指定重要無形民俗文化財(1979年)、ユネスコ無形文化遺産(2009年)となっている。

⇒室町界隈の町人文化の結晶であり、災厄への忌避に対する都市民の祈りの象徴でもある。

2020年の祇園祭

- 新型コロナの流行を受け、2020年の祇園祭は、**大幅に縮小して執行**。
- 多くの人々を集める山鉾行事や神輿渡御など、**多くの行事が中止**。
- **風流・神賑**わいか？ **神事**か？

参考) 近代以降の山鉾巡行の中止・延期

- 明12：コレラ流行のため11月に延期
- 明17：大雨のため中断・延期
- 明19：コレラ流行のため11月に延期
- 明20：コレラ流行の恐れのため5月に実施
- 明28：コレラ流行のため10月に延期
- 明45：明治天皇崩御のため後祭中止
- 大2：明治天皇喪中のため8月に延期
- 大3：皇太后崩御のため8月に延期
- 昭18~21：戦争激化・戦後の混乱のため中止
- 昭37：阪急地下工事のため中止

令和2年祇園祭日程

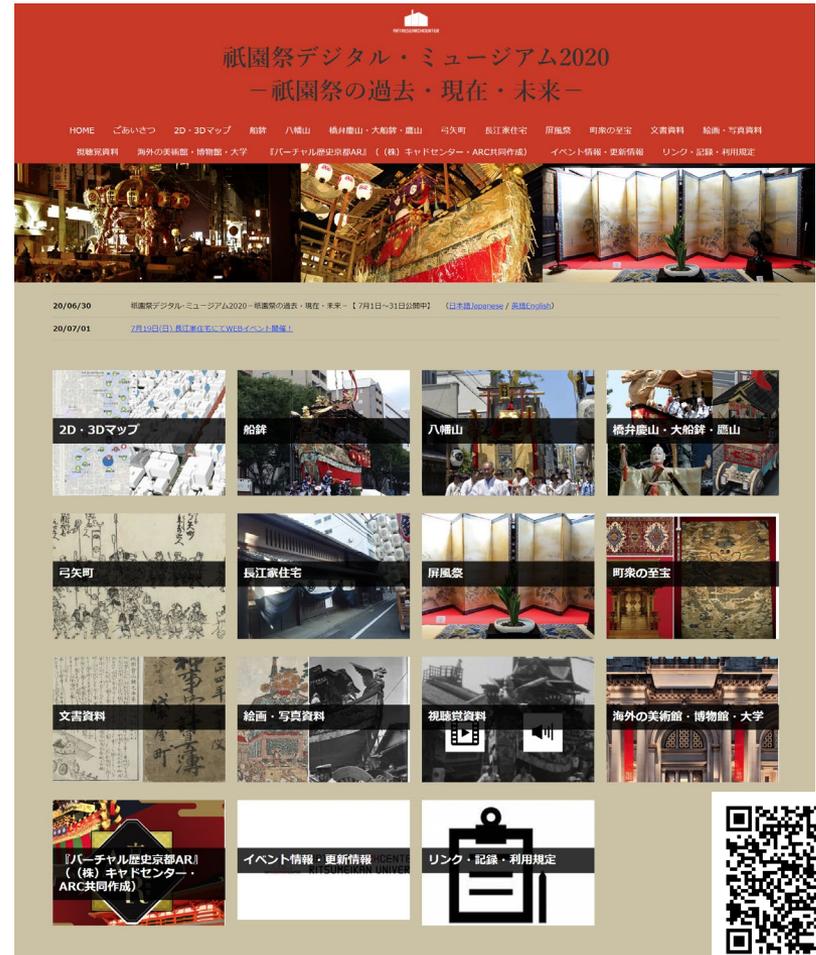
7月	神事・行事	内 容
1	10:00 月次祭並長刀鉾町御千度	稚児の参拝はありませんが、町内役員参列のもと執り行われます。
7	14:30 綾傘鉾稚児社参	本年は中止いたします。
10	10:00 神用水清祓式	鴨川(宮川)より汲み上げた神事用水の清祓式が舞殿において執り行われます。
	17:00~ お迎提灯	本年は中止いたします。
	18:00 神輿洗奉告祭	宮本組役員参列のもと執り行われます。
	引続き 神輿洗式	境内神輿庫前にて執り行います。
3~24	御旅所授与所【四桑寺町】	四桑御旅所にて厄除ちまきを授与いたします。
13	11:00 長刀鉾稚児社参	本年は中止いたします。
	14:00 久世稚児社参	本年は中止いたします。
15	10:00 月次祭並生間流式庖丁奉納	月次祭に合わせ生間流式包丁による包丁式が神前に奉納されます。
	20:00 官宮祭	神輿庫にて居祭の神輿に御神霊をお遷しいたします。
16	9:00 献茶祭(表千家)	表千家家元 千 宗左宗匠の奉仕にて執り行われます。本年に限り拝服席・副席はありません。
17	9:00 山鉾巡行(前祭)	本年は中止いたします。
	16:00 前の祇園祭【大祭】	本年に限り、神幸祭に代わる祭典として本殿にて執り行われます。
	18:00 御神霊渡御祭	ご神霊を御旅所へお遷し致します。
23	9:00 煎茶献茶祭	煎茶道 小川流家元の奉仕にて執り行われます。
	14:00 オハケ清祓式	八坂神社又旅社に於いて斎竹・斎芝を舗設して執り行われます。
	9:30 山鉾巡行(後祭)	本年は中止いたします。
24	10:00 花傘巡行	本年は中止いたします。
	18:00 御神霊渡御祭	御旅所のご神霊を本社へお遷し致します。
	20:00 又旅社奉饗祭	八坂神社又旅社に於いて、御神霊に神饗をお供え致します。
	23:00 後の祇園祭【大祭】	本年に限り、遠幸祭に代わる祭典として本殿にて執り行われます。
28	10:00 神用水清祓式	鴨川(宮川)より汲み上げた神事用水の清祓式が舞殿において執り行われます。
	18:00 神輿洗奉告祭	宮本組役員参列のもと執り行われます。
	引続き 神輿洗式	境内神輿庫前にて執り行います。
31	10:00 疫神社夏越祭【境内疫神社】	境内疫神社の鳥居に大茅輪を設け、参拝者は之をくぐって厄気を祓い、「蘇民将来之子孫也」の護符を授かります。本年に限り茅の輪は7/1より設けています。

※ 上記の神事・行事の時間は状況により変更する場合があります。

祇園祭デジタル・ミュージアム2020

－ 祇園祭の過去・現在・未来－

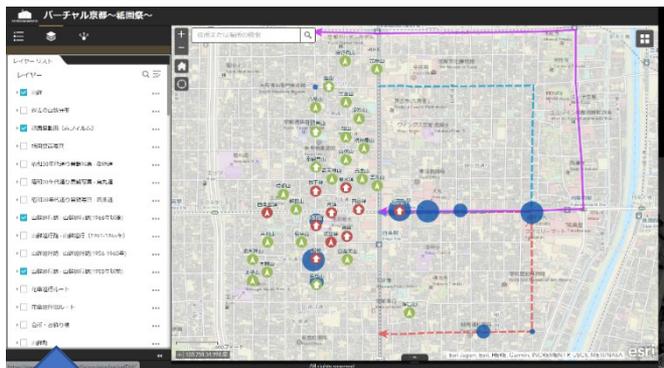
- ARCのプロジェクトや国内外の博物館・研究機関との連携により、祇園祭に関する様々な研究成果をこれまで蓄積してきた。
- この状況を受けて、地域の関係者や一般の人々に、成果を還元する。
- 国内外のより多くの人々に祇園祭を体感してもらう機会を与えたい。
- 7月1日よりWEBサイトを公開。
⇒5,083アクセス(17日まで・日英合算)
28,462ページビュー
- バーチャルな時空間上で、祇園祭の歴史や現状、未来への可能性などを学び、体感し、多くの知識や興味、関心を養ってもらう。



<https://www.arc.ritsumeai.ac.jp/lib/vm/gionfestivalDM/>

祇園祭デジタル・ミュージアム2020の構成

バーチャル京都2Dマップ

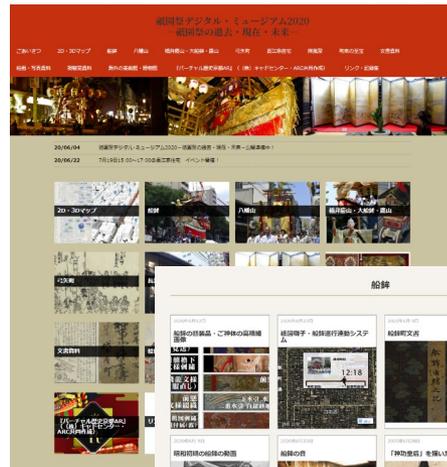


バーチャル京都3Dマップ

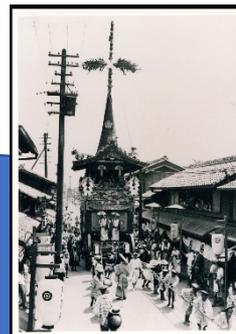


時空間情報として
紐付ける

ARC バーチャル・インスティテュート



デジタル・コンテンツ



注目のコンテンツ

- 懸装品の高精細画像
 - 昭和初期の巡行映像
 - 各山鉾町や弓矢町、長江家の古文書
 - 祇園祭関連の絵画
 - 祇園祭関連の古写真
 - 洛中洛外図屏風・祭礼図屏風
 - 海外の美術館・博物館・大学の所蔵品
 - 町並み・山鉾などの3次元モデル
 - 祇園囃子・わらべうたの収録データ
 - 長江家住宅の屏風飾り
 - 弓矢町の武具飾り
 - 『バーチャル歴史京都AR』（7月14日～）
 - Web座談会（7月19日PM）
- etc.



古写真(3,200)、戦前動画(10)、現在の動画・CG(20)、絵画(100)、古典籍(20)、古文書(400)、懸装品・装飾品(70)、屏風(15)、音声(50)、地理空間情報(70)、その他の長江家資料(50)など...
計 4,000以上のコンテンツ

【ARCバーチャル・インスティテュート+ArcGIS Onlineの活用】

祇園祭デジタル・ミュージアム2020 を利用した「祇園祭と災害」研究

- 「祇園祭デジタル・ミュージアム2020」は、研究成果や研究資源の共有という面で、オープンサイエンスの推進の意味でも重要な役割を担える。
- デジタル・ミュージアムのコンテンツを利用し、「祇園祭と災害」をテーマとした研究事例を示す。
- **1864**（元治元）年の禁門の変に伴う、元治の大火（どんどん焼け）における山鉾行事への被害とそこからの復興についてみていく。

橋弁慶山

橋弁慶町文書「山鉾焼失調書写」

覚

橋弁慶山

- 一 牛若殿御小袖御召替共々不残焼失
- 一 金幣弍対并宵鋸金幣共焼失
- 一 黒塗山抱棒大五本小四本共

右之通焼失仕候

此外別条無御座候此段御断奉申上候

以上

子八月 蛸薬師室町東入町
年寄新兵衛



鯉山

橋弁慶町文書「山鉾焼失調書写」

覚

一 此度山鉾り附焼失御尋二付
鯉并本鉾り見送り前掛両脇掛
右持逃候二付焼残り**其外土蔵共不残**焼失仕候二付
此段御答奉申上候以上

元治元子年八月
室町通六角下ル町
子八月 鯉山町
年寄與兵衛



南観音山

橋弁慶町文書「山鉾焼失調書写」

一 南観音山

右此度大火ニ付焼失有無御尋ニ付取調申候処

木栖者土蔵共相残り申候得共錆り之分町中江分候而預
り罷在候品々彼是焼失仕候間凡四分通り之焼失ニ相當り
可申候

右之通ニ御座候以上

元治元年子八月

新町通り蛸薬師下ル

南観音山町

年寄半六



大船鉾

橋弁慶町文書「山鉾焼失調書写」

口上覺

新町通四条下ル

十四日 船鉾

右船鉾義南北両町持御座候所鉾土蔵無

之仮小家二入置二付此度類焼損仕候乍去

銅巻見送り之類ハ家々土蔵ニ割預リ在之候ニ付相残り御座候

南組金幣茂相残り御座候

北組龍之義者右小家二而焼損仕此段奉申上候以上



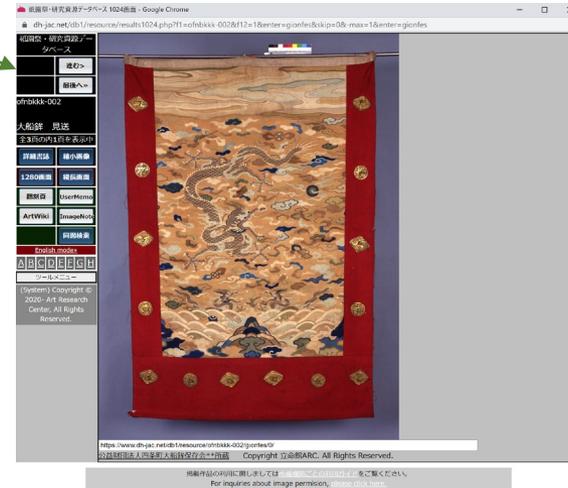
子八月十二日 新町通四条下ル町

十四日 船鉾北組

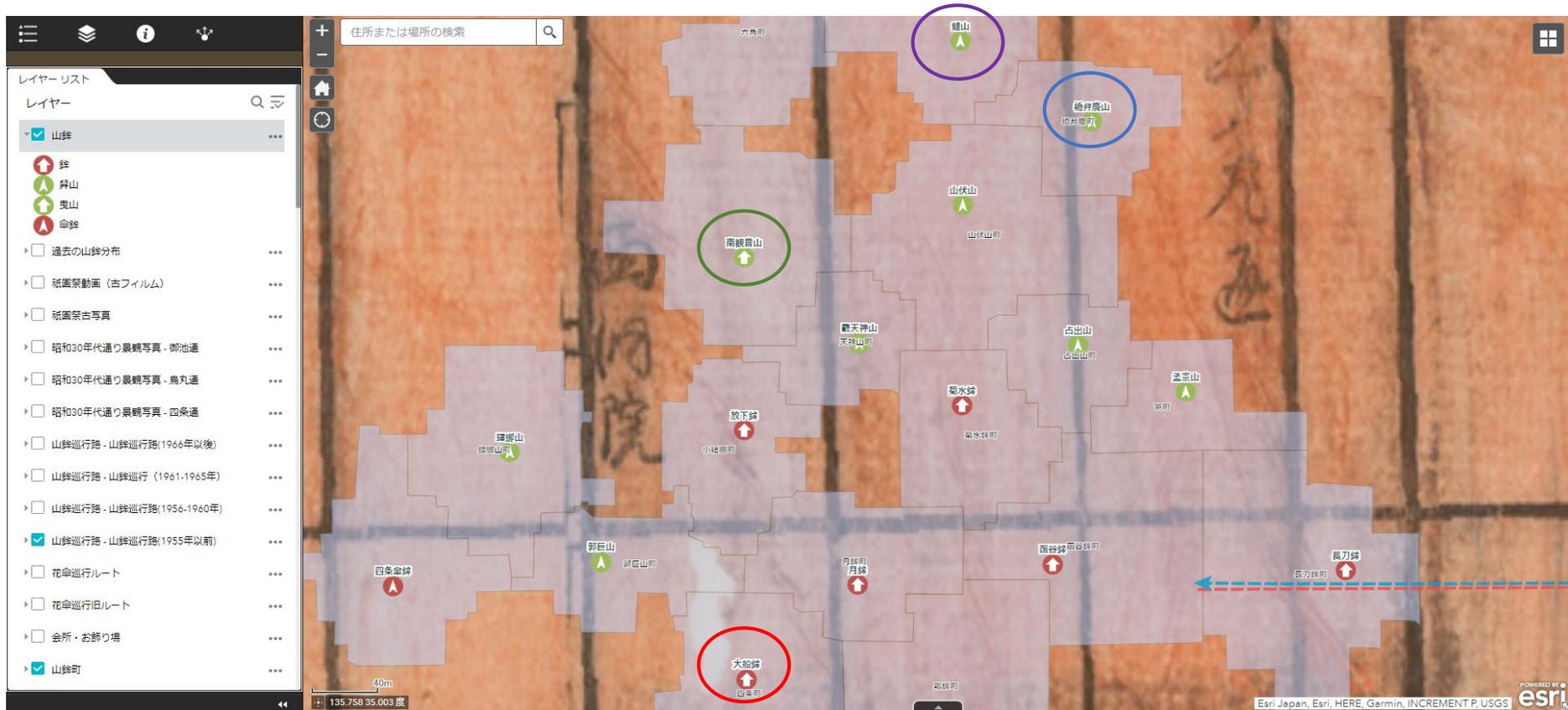
年寄暉太郎

同 南組

年寄欠二付 五人組 治助



被害状況の差



「2D・3Dマップ」 >> 「バーチャル京都2D－祇園祭の祭礼空間－」より
使用レイヤー「山鉾」、「山鉾巡行路（1955年以前）」、「本志らへ元治元子年京大焼之図（歴史都市防災研究所所蔵）」、「山鉾町」

- ・被害が少なかった**橋弁慶山**
- ・山蔵共々焼失したが、重要な懸装品を持ち逃げた**鯉山**
- ・山蔵に入れてあった部材は残ったが、装飾品の4割？を焼失した**南観音山**
- ・鉾蔵が無く、ほとんどの部材を失った**大船鉾**

近接した地域の中でも火の
広がり方にムラがあった？
事前の防災対策に差があった？

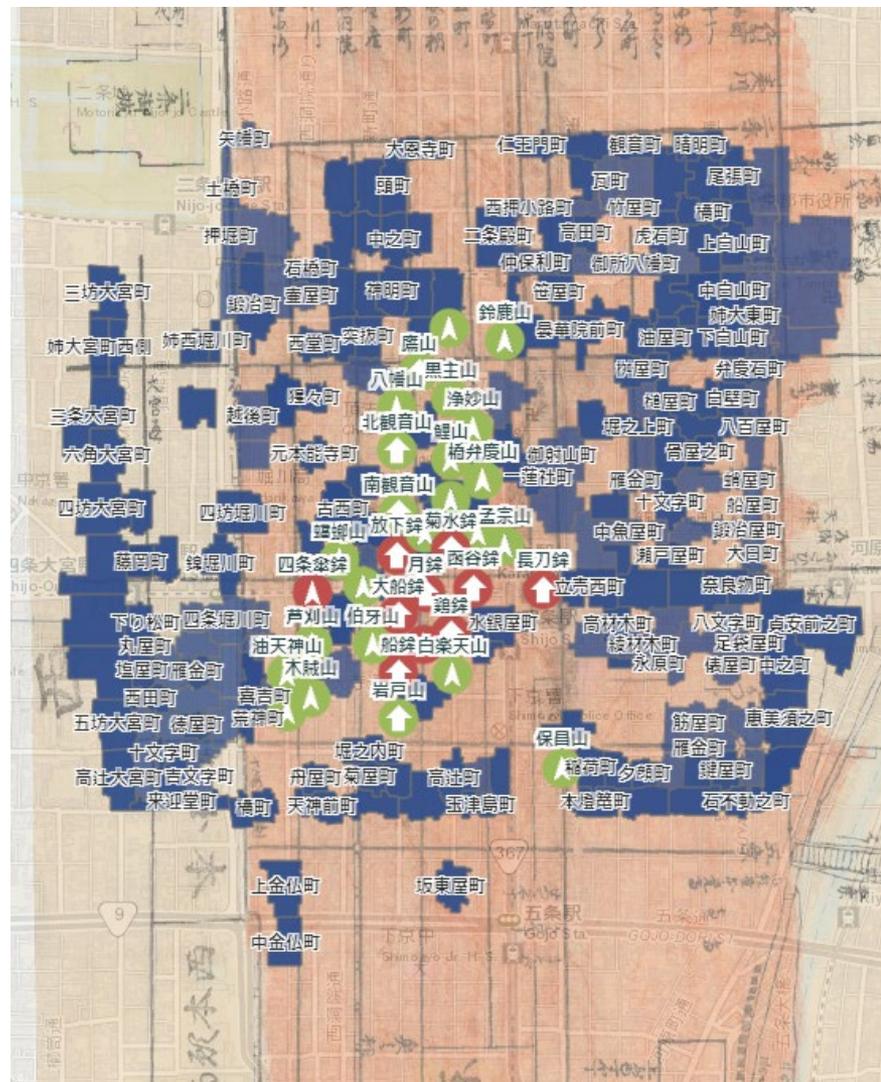
寄町制度の衰退と「山鉾行事」の始まり

- 山鉾町だけでなく、近世まで各山鉾の経済的補助基盤となった寄町も、多く被災した。
- これに明治期の町組改正も加わり、寄町制度が機能しなくなる。
- 新たな町組(元学区)単位での補助制度が整えられる。

⇒後の清々講社の発足に繋がる。

- 祭礼の近代化
- 氏子全体で支える祭礼

⇒「祇園祭の山鉾行事」の始まり



町文書にみる 個別山鉾の復興の記録

一覧表示へ 歴史都市京都の町文書データベース 詳細情報

編集画面 ImageNote

ARC管理No.	kiym-005	作品No.	kiym-005
作品セット	kiym-005(00/000)		
作品名	こいやすまいらんしろうきらく 鯉山再濫觴記録		
別称	こいやまちょうもんじょ 鯉山町文書		
Genre	町運営 分類		
Media	画像/image 備考		
成立	明治5 (1872) 6		
制作者			
製造地			
Keywords			
解説			
書誌備考			
D画像所有	立命館ARC 画像有無: 有 公開範囲: resource2		
原所蔵者	公益財団法人鯉山保存会 公開状況: 非 担当:		
LINK			
Group code	resource_portal resource_postgr resource_kiymcm reso_resource_gionfes		
Permalink	https://www.dh-jac.net/db/1/resource/kiym-005/kyocho/		
ArtWiki(E)	ArtWiki(J)	ArtWikiには本文の解説が自由に記述できます。 閉じる	

掲載作品の利用にしましては所蔵機関ごとの利用ガイドをご覧ください。
For inquiries about image permission, please click [here](#).
Copyright 立命館ARC. All Rights Reserved.
(System) Copyright © 2005- Art Research Center, All Rights Res

非公開
「鯉山再濫觴記録」
(公益財団鯉山保存会)

一覧表示へ 歴史都市京都の町文書データベース 詳細情報

編集画面 ImageNote UserM

ARC管理No.	fnhk01-001	作品No.	fnhk01-001
作品セット	fnhk01-001(00/000)		
作品名	funebokoshanmoyobikappeshinrounoki ふねぼこしらまほのつしんぞうのき 船鉾車輪及合羽新造之記		
別称	funebokoch menjo ふねぼこちょうもんじょ 船鉾町文書		
Genre	祭礼 分類		
Media	画像/image 備考		
成立	明治25 (1892)		
制作者			
製造地			
Keywords			
解説			
書誌備考			
D画像所有	立命館ARC 画像有無: 有 公開範囲: resource2		
原所蔵者	公益財団法人祇園祭船鉾保存会 公開状況: 公開 担当:		
LINK			
Group code	resource_portal resource_postgr resource_fnbkcm resource_ky_resource_gionfes		
Permalink	https://www.dh-jac.net/db/1/resource/fnhk01-001/kyocho/		
ArtWiki(E)	ArtWiki(J)	ArtWikiには本文の解説が自由に記述できます。 閉じる	

掲載作品の利用にしましては所蔵機関ごとの利用ガイドをご覧ください。
For inquiries about image permission, please click [here](#).

「船鉾」 >> 「船鉾町文書」より
「船鉾車輪及合羽新造之記」
(公益財団法人祇園祭船鉾保存会)

各町の町文書データベースでは、個別の山鉾の復興に関わる記録も閲覧可能

『船鉾車輪及合羽新造之記』

『船鉾車輪及合羽新造費寄付者名録』

(公益財団法人祇園祭船鉾保存会：1892(明治25)年)



データベース

<戻る 進む>

<<最初へ 最後へ>>

fnhk01-001
ふねほこしやりんおよびかつ
ぼしんぞうのき
船鉾車輪及合羽新造
之記

全25頁の内3頁を表示中

詳細書誌 縮小画像

1280画面 縦長画面

翻刻頁 UserMemo

ArtWiki ImageNote

同図検索

English mode

ABCDEF GHI

ツールメニュー

(System) Copyright ©
2005- Art Research
Center, All Rights
Reserved.

車輪全形之寸法記

同見込	胴木口差渡	矢文	大輪巾	厚	總丈
					六又八寸
					五寸三分
					壹尺二寸
					壹尺壹寸五分
					二尺壹寸
					壹尺九寸

船鉾車輪及合羽新造之記
我町共有ニ係ル船鉾タルヤ元治
元年七月十九日京都兵變ノ際之
カ車輪及合羽灰燼ニ歸ス嗚呼傷
マシキ哉其翌年ヨリ此壯觀ニ接スル
能ハサルヲ其後有志者建鉾セシコ

<https://www.dh-jac.net/db1/resource/fnhk01-001/kyocho/2/>
 公益財団法人祇園祭船鉾保存会所蔵 Copyright 立命館ARC. All Rights Reserved.

掲載作品の利用にしましては所蔵機関ごとの利用ガイドをご覧ください。
For inquiries about image permission, please click here.

「船鉾」 >> 「船鉾町文書」より

元治の大火による被害とその後の巡行不能について

『船鉾車輪及合羽新造之記』

『船鉾車輪及合羽新造費寄付者名録』

(公益財団法人祇園祭船鉾保存会：1892(明治25)年)

我鉾車輪及合羽新造ノ説起リ
 異論百出討議スルコト頻繁ナリ
 七月ニ至ツテ愈新造スルコトニ決ス
 即チ該工事ノ委員ヲ設クルニ五名ヲ
 以テシ撰挙スルニ及ンテ原田與市
 木村勘兵衛今西多七中井佐
 太郎中川利平川村太助ノ六氏
 當撰高點ヨリ順次ヲ追ヒ川村太
 助氏ヲ除ス次ニ會計係ニ名ヲ撰挙
 スルニ川村太助今西多七ノ二氏當撰
 ス其後中川利平氏委員ノ職ヲ辭
 スルニ當リ委員撰舉ノ當時次点ナリシ

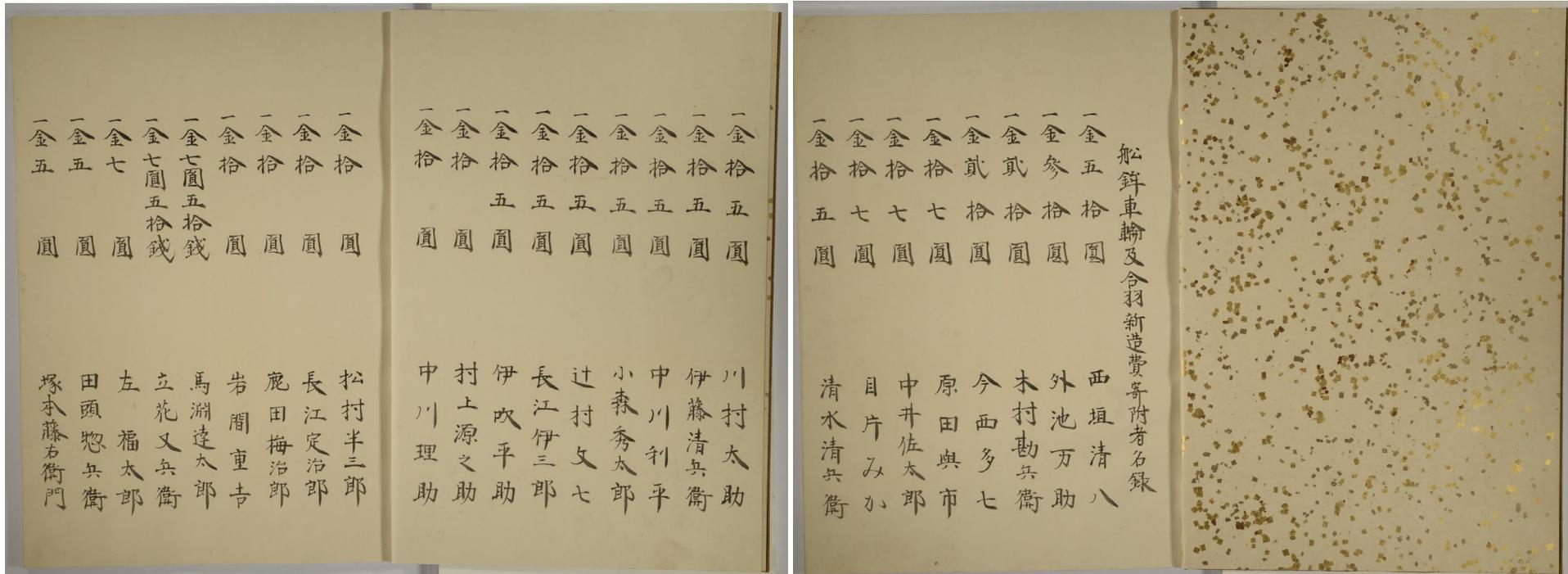
車輪の新造に至る経緯と
委員の選定

ヲ唱フト雖時撥至ラス終ニ二十四年ヲ
 経テ明治二十三年^武七月有志者再
 起リ建鉾ノ説ヲ主張スルコト甚タ切
 ナリ種々討議數回ニ及ヒ茲ニ初テ船
 鉾再建スルノ舉ヲ得タリ舊規ニ據テ
 神役ヲ設ケ直ニ車輪ノ準備ニ至
 リ清々講社委員村田五郎兵衛氏
 今回ノ舉ヲ賛成シタルノ故ヲ以テ特ニ
 南觀音山町ニ對シ車輪貸渡シテ
 勸告ス談整ヒ終ニ同町ヨリ車輪ヲ
 借入レ此年ニ至ツテ漸ク建鉾ノ神
 事ヲ執行ス然ルニ同二十三年六月

巡行復歸までの経緯

『船鉾車輪及合羽新造之記』 『船鉾車輪及合羽新造費寄付者名録』

(公益財団法人祇園祭船鉾保存会：1892(明治25)年)



車輪新造費の寄付者と寄付額

「船鉾」 >> 「船鉾町文書」より

補助金等の外部資金に頼らず100%町内関係者で411円の資金を集めた。

1892(明治25)年、この車輪新造事業によって、
船鉾は元治の大火からの**完全復興**を果す！

鷹山の復興について

- 1826(文政9)年の巡行での大雨による懸装品の被害を理由に、翌年から巡行に参加しなくなった鷹山。
- 元治の大火での被害もあり、現在まで休み山として居祭を続けている。
- その鷹山が、明治期の船鉾の車輪などを譲り受けながら、2022年の復興を目指している。
- 三条通新町東入る衣棚町の3Dマップ上に再現された鷹山3Dモデルの初公開。



おわりに

- 新型コロナによる疫災のなかで、多くの人々を集める行事を中止としても、八坂神社の神事を行うことで、疫病退散を祈願する祇園祭の本義は揺るがない。
- とはいっても、山鉦行事や神輿渡御のない京都の7月は、やはり寂しいものである。
- 「祇園祭デジタル・ミュージアム2020」の公開を通して、地元の寂しさを少しでも和らげ、祇園祭を魅力を国内外に広く発信することで、来年度以降の祭りがより良いものとなることを願う。
- それだけでなく、このデジタル・ミュージアムの多様なコンテンツが研究資源として利用されることで、祇園祭研究や京都市都心の地域研究が様々な角度から進展し、新たな知見が生み出されることを期待する。